

# 全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会 2019

## プール

### チーム1次要項

- 名称 全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会 2019 (プール)
- ・ 第6回全日本ジュニアライフセービング・プール競技選手権大会
  - ・ 第6回全日本ユースライフセービング・プール競技選手権大会
  - ・ 第1回全日本マスターズライフセービング・プール競技選手権大会
- 日程 2020年 2月15日(土)～16日(日)
- 会場 世田谷区総合運動場温水プール 世田谷区大蔵4-6-1
- 主催 公益財団法人日本ライフセービング協会
- 後援 世田谷区、世田谷区教育委員会、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団
- 助成 公益財団法人スポーツ安全協会 スポーツ普及奨励助成事業

### ■競技種目

#### 【 小学生の部 】

##### ●個人種目

1. 障害物スイム (50m) (小3.4年女子)
2. 障害物スイム (50m) (小3.4年男子)
3. 障害物スイム (50m) (小5.6年女子)
4. 障害物スイム (50m) (小5.6年男子)
5. ジュニアチューブスイム (50m) (小1.2年女子)
6. ジュニアチューブスイム (50m) (小1.2年男子)
7. レスキューチューブトウ (100m) (小3.4年女子)
8. レスキューチューブトウ (100m) (小3.4年男子)
9. レスキューチューブトウ (100m) (小5.6年女子)
10. レスキューチューブトウ (100m) (小5.6年男子)

##### ●チーム種目

11. 障害物リレー (4 × 50m) (小6年以下男女混合可)
12. レスキューチューブリレー (4 × 50m) (小6年以下男女混合可)

#### 【 中学生の部 】

##### ●個人種目

13. 障害物スイム (100m) (女子)
14. 障害物スイム (100m) (男子)
15. マネキンキャリー (50m) (女子)
16. マネキンキャリー (50m) (男子)
17. マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (女子)
18. マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (男子)
19. マネキントウ・ウィズフィン (100m) (女子)

20. マネキントウ・ウィズフィン (100m) (男子)

●チーム種目

21. ラインスロー (10m) (女子)

22. ラインスロー (10m) (男子) (男女混合チーム可)

23. 障害物リレー (4 × 50m) (女子)

24. 障害物リレー (4 × 50m) (男子) (男女混合チーム可)

25. メドレーリレー (4 × 50m) (女子)

26. メドレーリレー (4 × 50m) (男子) (男女混合チーム可)

【 高校生の部 】

●個人種目

27. 障害物スイム (100m) (女子)

28. 障害物スイム (100m) (男子)

29. マネキンキャリー (50m) (女子)

30. マネキンキャリー (50m) (男子)

31. マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (女子)

32. マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (男子)

33. マネキントウ・ウィズフィン (100m) (女子)

34. マネキントウ・ウィズフィン (100m) (男子)

●チーム種目

35. ラインスロー (12.5m) (女子)

36. ラインスロー (12.5m) (男子) (男女混合チーム可)

37. マネキンリレー (4 × 25m) (女子)

38. マネキンリレー (4 × 25m) (男子) (男女混合チーム可)

39. 障害物リレー (4 × 50m) (女子)

40. 障害物リレー (4 × 50m) (男子) (男女混合チーム可)

41. メドレーリレー (4 × 50m) (女子)

42. メドレーリレー (4 × 50m) (男子) (男女混合チーム可)

【 マスターズの部 】

●個人種目

43. 障害物スイム (100m) (女子)

44. 障害物スイム (100m) (男子)

45. マネキンキャリー (50m) (女子)

46. マネキンキャリー (50m) (男子)

47. マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (女子)

48. マネキンキャリー・ウィズフィン (100m) (男子)

49. マネキントウ・ウィズフィン (100m) (女子)

50. マネキントウ・ウィズフィン (100m) (男子)

▶ 小学生の部・中学生の部・高校生の部にエントリーする全ての競技者は、チームの責任者および保護者が競技者本人の力量を判断し意思を確認の上、エントリーをするようにお願い致します。

- ▶ 小学1.2年生のチーム種目出場については、出場希望者がいれば今回暫定的に認めることとします。厳重な安全体制を確保した上で実施状況を判断し、来年度からの正式化を判断します。チームの責任者および保護者が競技者本人の力量を判断し意思を確認の上、競技者の体力が非常に優れており、確実に完泳ができる場合のみにエントリーをするようお願い致します。
- ▶ 下線のある種目は、タイム決勝にて実施いたします。そのほかの種目は予選・決勝として実施します。エントリー数やその他事情により、一部もしくは全種目をタイム決勝とする場合があります。
- ▶ 個人種目登録数は1人2種目までとします。3種目以上に出場する場合は、追加参加費（後述）が必要となります。ただし、チーム種目は除きます。
- ▶ 小学生の部のチーム種目は、男女別を設けず男女混合のみとします。中学生の部および高校生の部のチーム種目は男女別で実施をしますが、男子の種目には男女混合でのエントリーをすることができます。
- ▶ チーム種目は、1団体につきカテゴリ別にそれぞれ各3チームまでとします。但し、同一競技者が複数組に出場することはできません。
- ▶ 中学生の部における「ラインスロー（10m）」は、クロスバーの位置を「スタートする側のプールの端から10mの地点」に変更して競技を行うこととします。
- ▶ 「ジュニアチューブスイム（50m）」「レスキューチューブトウ（100m）」「レスキューチューブリレー（4×50m）」については、参加規程内に記載のルールを参照してください。

## ■タイムテーブル

別紙「参考タイムテーブル」参照。エントリー集計後、詳細は2次要項でお知らせします。

## ■表彰

＜個人表彰＞

競技種目の上位1位から8位を入賞とします。また、1位から3位の競技者を表彰しメダルを授与します。

＜チーム総合表彰＞

小学生・中学生・高校生・マスターズ・クラブ総合（全年齢合計）のカテゴリ別で総合得点を算出し、後日ホームページで発表します。但し、男子と女子でカテゴリは分けません。また、1位から3位のチームには表彰状を授与しますが、総合表彰は大会当日ではなく別日に実施する大会にて行います。

## ■得点

タイム決勝または決勝の結果に対して、個人・チーム種目とも同じ得点を加算します。なお、同種目に同じチーム（団体）の競技者が入賞した場合も、以下の通り得点が加算されます。配点は以下の通りです。

1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

- 1.（カテゴリ別の）総合得点が同点の場合は、1位の種目の多いチーム（団体）を、1位の種目が同数の場合は2位の種目の多いチーム（団体）を、というように総合順位を決定します。
2. 決勝で失格の場合は0点とします。
3. 総合順位は、カテゴリ毎で、実施種目の70%以上の最終競技結果をもって成立するものとします。

## ■参加費

申込締切日までにお振込みをお願いいたします。

### 【個人種目の参加費】

小学生 … 1名 3,000円 ※保険料含む  
 中学生 … 1名 4,000円 ※保険代含む  
 高校生 … 1名 5,000円 ※保険代含む  
 マスターズ … 1名 5,000円 ※保険代含む

◆追加参加費 … 個人種目において、3種目以上に出場する場合は、追加参加費として1種目ごとに1,000円が必要です（チーム種目は含みません）。

※チーム種目のみに出場する競技者も「申込用紙」でエントリーし参加費もお支払い下さい。

### 【チーム種目の参加費】

1 種目につき 1,000 円が必要です。

### 【変更手数料】

1 つの変更につき … 3,000 円 (小学生/中学生/高校生/マスターズ 一律共通)

申込締切後であっても、エントリーミスによる出場種目(個人種目・チーム種目共に)の変更が可能です。ただし、申込締切時にエントリーされている(競技者登録している)方のみ対象とし、新たな競技者のエントリーは認められません。振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ず振込下さい。期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受付ません。

例: 種目を 1 つ変更 = +3,000 円 種目を 2 つ変更 = +6,000 円

◆参加競技者が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、参加申込締切後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、やむを得ず中止になった場合でも参加費及び変更手数料は返還されません。また、エントリーミスや不備により競技会に出場できない場合にも、返金は致しませんので、エントリー作業はお間違えのないように十分ご注意ください。

◆参加競技者・選出審判員および参加団体のエントリーに不備があり、指定する期日までにその不備が修正されず、それでも大会に出場を希望する場合は、救済のためのペナルティ手数料(競技者個人の不備: 10,000 円、選出審判員の不備: 30,000 円)が科される場合があります。参加競技者・テクニカルオフィシャルおよび参加団体が【参加規程】を満たしているかどうかをよくお確かめのうえ、不備がないうえで申込期日までにエントリー作業を進めてください。

エントリー不備がある時点で本来であれば出場できません。期日までにエントリーを正しく完了しているチームと、公平性を保つ為の処置とします。

## ■申込方法

別紙「各種締切」を参照のうえ、お間違いのないようお申込みください。

## ■保険について

本競技会参加規程のもとでの参加者(競技者、競技役員)は、以下の保険に加入しています。

なお、賠償責任保険については、競技会参加者同士の事故には法律上の賠償責任が発生しないため保険の対象となりません(例: レース中、A 競技者のクラフトが B 競技者のクラフトにぶつかり B 競技者のクラフトが破損した)。

競技会期間中の場合は、競技会本部事務局にお知らせください。

### <傷害保険>

|          |                  |
|----------|------------------|
| 死亡保険金額   | 500 万円           |
| 後遺障害保険金額 | 500 万円～20 万円     |
| 入院保険金額   | 3,000 円          |
| 手術保険金額   | 入院保険金額の 5 倍～10 倍 |

※代理店: 有限会社リプロ (0466-55-4388)

### <個人賠償責任保険>

|                                  |      |
|----------------------------------|------|
| 賠償責任保険(身体・財物)                    | 1 億円 |
| ※ 1 事故につき 5 千円の自己負担              |      |
| ※代理店: 株式会社第一成和事務所 (03-5645-1071) |      |

### <団体賠償責任保険>

|               |        |
|---------------|--------|
| 賠償責任保険(身体・財物) | 2 億円   |
| 賠償責任保険(管理財物)  | 50 万円  |
| 賠償責任保険(人格権侵害) | 50 万円  |
| 事故対応費         | 500 万円 |

|            |          |
|------------|----------|
| 見舞費用（死亡）   | 50万円     |
| 見舞費用（後遺障害） | 2万円～50万円 |
| 見舞費用（入院）   | 2万円～10万円 |
| 見舞費用（通院）   | 1万円～5万円  |

※代理店：株式会社第一成和事務所（03-5645-1071）

## ■代表者会議

競技上の注意事項等について説明する代表者会議を下記に開催予定です。詳細は2次要項でお知らせします。

- ① 日時 2月15日（土） 10時（予定）
- ② 会場 プールサイド本部前（予定）

## ■宿泊について

各チームにてご手配ください。

## ■会場へのアクセスについて

できるだけ公共交通機関をご利用ください。

有料駐車場はございますが、時間と台数に制限がございます。

詳しくは総合運動場ホームページでご確認ください。

## ■食事について

会場となる総合運動場内にあります「レストラン赤坂クーポール 砧店」のご利用が可能です。

希望する団体は、大会当日の弁当を事前手配することも可能です。

<https://www.se-sports.or.jp/sougou/restaurant.php>

## ■2次要項について

エントリーチームには、競技会開催日の1週間前を目処に2次要項をお送りします。

## ■テクニカルオフィシャルの選出について（本競技会に競技者登録をしていない方）

他の公式競技会と同様に、各チームの参加人数に応じたテクニカルオフィシャルの選出をお願いいたします。競技会運営を円滑にするための導入措置となります。ご理解とご協力のほどお願いいたします。詳細は、【参加規程】の「6 テクニカルオフィシャルの選出」をご確認ください。

## ■競技会参加とライフセービング資格連動のご案内

ライフセーバーが集う競技会としての位置づけから、参加規程と資格所有（または推奨）を連動させています。

<小学生> 資格連動の規定はございません

<中学生> BLSおよびWS → 【推奨】

<高校生> BLSおよびWS → 【推奨】

※【推奨】の場合、資格を所有していなくても競技会参加は可能です。

## ■その他

### 【競技成績証明書】

各種目で入賞された競技者で、競技成績証明証が必要な方は JLA ホームページ「ライフセービングスポーツ→申請→競技成績証明書」を出力し、JLA 事務局までご提出ください。発行申請は該当競技会より1年以内の期間で受付をいたします。

## ■登録管理システム「LIFESAVERS」

システムを通じて「JLA-ID」を取得して、個人管理ページで保有資格等の確認と2019年度登録費（資格登録や

選手登録)の支払いをお済ませください。各種登録は1年ごとです。なお、登録方法などご不明な点は下記のサポートセンターにお問合せください。

●メール：「LIFESAVERS」のお問い合わせフォームをご利用ください。

<http://life-savers.jp>



### ■C級認定審判員養成講習会のお知らせ

以下の日程で開催予定です。この日程に参加し合格した場合、本競技会へのテクニカルオフィシャルとしてのエントリーが可能です（競技会へのテクニカルオフィシャルエントリーは別途必要です）。奮ってご参加ください。詳しくは登録管理システム「LIFESAVERS」内の『講習会申込』からご確認および受講エントリーをお願い致します。

日時：2020年1月11日(土) 09:30～16:30

場所：世田谷区立総合運動場（予定）

### ■お問い合わせ先

日本ライフセービング協会事務局

〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1階

TEL：03-3459-1445（対応時間：平日12：00-18：00）

FAX：03-3459-1446

# 全日本ジュニア/ユース/マスターズ選手権大会（プール）

## 【参加規程】

### 1 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 競技者（ジュニア）は、競技会初日に小学校在籍またはそれと同様の年齢に達していること。

1-2 競技者（ユース）は、競技会初日当日満12歳以上でなければならない。但し小学生を除く。

1-3 競技者（マスターズ）は、2020年12月31日に満30歳以上になる者でなければならない。

1-4 競技者は、ライフセービングを志している者とする。

1-5 競技者は、自分の出場する種目のルールを熟知していること。

1-6 競技者は、申込締切日までに、登録管理システム「LIFESAVERS」にて選手登録費の支払いが完了していなければならない。

### 2 チーム（団体）構成

2-1 チーム（団体）は、申込締切日までに、登録管理システム「LIFESAVERS」にて第1, 2, 5, 6種いずれかの団体登録が完了していなければならない。

2-2 上記が満たせない場合には、学校もしくはクラブなど、同じ団体に所属している競技者により構成されたチームで出場することができる。このチームはカテゴリー総合表彰の対象とはしないが、このチームから出場した競技者は個人表彰の対象とする。1つの団体からの出場は1チームとする。

2-3 チーム責任者を1名選出すること。

### 3 出場登録

3-1 参加競技者は個人種目、チーム種目にかかわらずあらかじめ所定の用紙を用い出場種目の登録をしなければならない（エントリー不備等については代表者および担当者にメールでのみお問い合わせをいたします）。

3-2 申込に過誤があった場合に限り、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」ができる。但し、すでに登録がされている競技者のみ対象とし、新たな競技者の出場登録はできない。なお、個人種目・チーム種目の全種目について、変更できるものとする。

3-3 競技者個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること（エントリー標準タイムは設定しないが、エントリー種目を完泳できること）。

### 4 ユニフォーム及び競技中の衣類

4-1 式典等および競技に適したユニフォーム（なければジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。

4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。

4-3 キャップは、チーム全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

4-4 チームのユニフォーム、水着、キャップ、に競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

4-5 キャップを準備していないチーム（競技者）にあつては、当協会が準備したキャップを着用して参加すること。

### 5 参加費

5-1 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。

5-2 変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。

5-3 参加申込締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、競技会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

5-4 参加競技者・選出審判員および参加団体のエントリーに不備があり、指定する期日までにその不備が修正されず、それでも大会に出場を希望する場合は、救済のためのペナルティ手数料を科す場合がある。

### 6 テクニカルオフィシャルの選出

6-1 参加チーム（団体）は下記のとおり、テクニカルオフィシャルを選出しなければならない。

競技者 5～15名＝1名、同 16～30名＝2名、同 31名以上＝3名。

- ただし、何かの理由で選出オフィシャルが参加できなくなった場合は、必ず代替りの者を選出すること。
- 6-2 参加するオフィシャルは、デジエントリーによりオフィシャル参加申し込みを行うこと。
- 6-3 選出するオフィシャルは、C級認定審判員資格以上を取得し、本競技会に競技者として登録していないこと。  
※申込締切期日までに有効なオフィシャル資格を取得していること。  
※申込締切期日までに、登録管理システム「LIFESAVERS」にてオフィシャル資格登録費の支払いが完了していること。
- 6-4 選出するオフィシャルは2日間を通じて参加できること。なお、2日間を通じてオフィシャルを選出できないとき（やむを得ず参加日ごとにオフィシャルが入れかわる場合）は、主催者は距離が近い方の1名分の交通費（上限5,000円）のみを支給する。
- 6-5 オフィシャル参加に関わる交通費（上限5,000円）、昼食は別紙「競技役員募集要項」に基づき主催者が負担する。
- 6-6 選出するオフィシャルは、BLS以上の資格を所有していることを推奨する。

## 7 競技器材

- 7-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則「器材の規格」の基準を満たさなければならない。ただし、利用する施設に合わせて障害物の仕様を変更する場合がある。
- 7-2 プール競技で使用するマネキン、障害物、レスキューチューブ、スローラインは主催団体が用意する。
- 7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。
- 7-4 ラインスロー（10m）およびラインスロー（12.5m）において、クロスバーとして障害物スイム等の障害物を用いる場合がある。
- 7-5 小学生の部におけるジュニアチューブスイム（50m）で使用するレスキューチューブは、ライフセービング競技規則「器材の規格」で定められているものとは異なる器材を用いる。

## 8 競技規則

本競技会はJLA競技規則2019年版及び下記の事項に則り実施する。但し、下記の事項が競技規則2019年版よりも優先される。

- 8-1 本競技会は、代表者会議開始時刻に開始し、最終競技種目の終了から20分後に終了するものとする。ただし、抗議、上訴または規律審査に属する問題がある場合、最終解決まで競技会は継続する。
- 8-2 決勝はA決勝、B決勝に分けず、1ヒート（A決勝）のみとする。
- 8-3 ハンドラーは競技者と共に指定された時刻までにマーシャルに集合し、オフィシャルの指示により整列すること。
- 8-4 泳力等の不足や傷病等により競技の続行が危険と判断した場合は、対象競技者の競技を中断することがある。
- 8-5 本競技会において、フィニッシュジャッジは置かないものとする。
- 8-6 利用する施設の都合により以下の点について競技規則の適用外とする。
  - ・スタート壁/折返し壁から5mおよび10mのラインは、レーンロープのバサロマークもしくはプールサイドのカラコーンによる目視ラインで代用する場合がある。
  - ・プールの深さ（水深）は1.6mとする。
  - ・レースで使用するレーン数は、6レーンとする。
  - ・スタート台の高さは42cm、プールの水面からスタート台までの高さは72cmとする。
- 8-7 ジュニアチューブスイム（50m）、レスキューチューブトウ（100m）、レスキューチューブリレー（4×50m）の競技規則を別途定める（本参加規定の最後にまとめて記述する）。

## 9 記録の扱い

今大会での記録（タイム）は日本記録を更新したとしても認定されないものとする（ライフセービング競技規則2019年版「第8章器材の規格 8.1プール施設規格」に適合しないため）。

## 10 その他

- 10-1 競技会中に競技会主催者および競技会主催者が認めた者が撮影した写真、映像をライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 10-2 競技会中に競技会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 10-3 競技会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、競技会への参加や記録が取り消されることがある。



ある。

以下、本競技会の特別競技規則を記す。

#### ■ジュニアチューブスイム (50m) (Rescue Tube Swim - 50m)

本競技規則は、特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング協会が制定する同種目の競技規則を引用する。

- (1) 競技人数  
1人
- (2) 使用器材  
ジュニアチューブ（主催者が準備する）
- (3) コース  
ジュニアチューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。
- (4) 競技の方法
  - ① スタートは、JLA 競技規則 2019 年版「3.2.1 飛込スタート」に準じる。
  - ② 競技者は、ジュニアチューブをつけて 50m 泳ぐ。ジュニアチューブを付けてスタートする場合、ジュニアチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたレーン内に位置させる。ただし、競技者は、ジュニアチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
  - ③ フィニッシュはジュニアチューブを正しく引いている状態で、はっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチすること。
- (5) 失 格  
JLA 競技規則 2019 年版総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。
  - ① 種目別の競技規則に違反した場合。
  - ② 競技中にプールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
  - ③ ジュニアチューブを正しく引いていない状態でフィニッシュの壁をタッチした場合。
  - ④ 競技者がはっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチしなかった場合。

#### ■レスキューチューブトウ (100m) (Rescue Tube Tow - 100m)

- (1) 競技人数  
1人
- (2) 使用器材  
レスキューチューブ（主催者が準備する）
- (3) コース  
レスキューチューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。
- (4) 競技の方法
  - ① スタートは、JLA 競技規則 2019 年版「3.2.1 飛込スタート」に準じる。
  - ② 競技者は、レスキューチューブをつけて 50m 泳ぐ。レスキューチューブを付けてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたコース内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
  - ③ 競技者は、折返しの壁を**手で**タッチした後、プールの壁から 5m 以内でレスキューチューブのオーリングとクリップの部分を正しくつけ、フィニッシュまでそれを引っ張る。
  - ④ 折返しの壁をタッチした後、プールの壁から 5m を越えたかどうかの判定は、競技者本人の頭頂部を基準とする。
  - ⑤ 競技者は、できるだけ速やかにレスキューチューブの紐を十分に伸ばした状態にしなければならない。
  - ⑥ レスキューチューブのオーリングとクリップの部分が途中外れた場合は失格とする。
  - ⑦ 競技者はスタート後、折返し壁に**手で**タッチする前にレスキューチューブ本体に触れてはならない。
  - ⑧ フィニッシュはレスキューチューブを正しく引いている状態で、はっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチすること。
- (5) 失 格  
JLA 競技規則 2019 年版総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② 競技者が折返しの壁をタッチする前にレスキューチューブ本体に触れた場合。
- ③ レスキューチューブのオーリングをクリップに正しくつげなかった場合。
- ④ レスキューチューブのオーリングをクリップにつける際、競技者が5mラインを越えてしまった場合。
- ⑤ 競技中にプールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
- ⑥ レスキューチューブを正しく引いていない状態でフィニッシュの壁をタッチした場合。
- ⑦ 競技者がはっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチしなかった場合。

#### ■レスキューチューブリレー（4×50m）（Rescue Tube Relay - 4×50m）

- (1) 競技人数  
1人
- (2) 使用器材  
レスキューチューブ（主催者が準備する）
- (3) コース  
特になし
- (4) 競技の方法
  - ① スタートは、JLA競技規則2019年版「3.2.1 飛込スタート」に準じる。
  - ② 第1競技者はスタートの合図の後、レスキューチューブを正しく装着し50m泳ぎ壁にタッチする。レスキューチューブを付けてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたコース内に位置させる。ただし、競技者はレスキューチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
  - ③ 第2、第3、第4競技者は、前の競技者がスタートしたら水中に入る。
  - ④ 第2競技者は少なくとも一方の手で壁に触れるか、またはスターティンググリップを掴んで水中で待機し、第1競技者が壁にタッチした後、レスキューチューブの肩掛けの部分を受け取る。その後、レスキューチューブを正しく装着し50m泳ぎ壁にタッチする。
  - ⑤ 第3競技者も第2競技者と同様に、少なくとも一方の手で壁に触れるか、またはスターティンググリップを掴んで水中で待機し、第2競技者が壁にタッチした後、レスキューチューブの肩掛けの部分を受け取る。その後、レスキューチューブを正しく装着し50m泳ぎ壁にタッチする。
  - ⑥ 第4競技者も第2、第3競技者と同様に、少なくとも一方の手で壁に触れるか、またはスターティンググリップを掴んで水中で待機し、第3競技者が壁にタッチした後、レスキューチューブの肩掛けの部分を受け取る。
  - ⑦ 第4競技者はレスキューチューブを正しく装着し50m泳ぎ、はっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチする。
  - ⑧ 第2競技者は第1競技者が、第3競技者は第2競技者が、第4競技者は第3競技者が50mを泳ぎ壁にタッチする前にレスキューチューブに触れたり、壁やスターティンググリップから離れたりしてはならない。
- (5) 失格  
JLA競技規則2019年版総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。
  - ① 種目別の競技規則に違反した場合。
  - ② 第1、第2、第3競技者が、それぞれ折返しの壁にタッチする前に第2、第3、第4競技者が、スタートした場合。
  - ③ 第1、第2、第3競技者が、それぞれ折返しの壁にタッチする前に第2、第3、第4競技者が壁やスターティンググリップから離れた場合。
  - ④ 競技中にプールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
  - ⑤ 第1、第2、第3競技者が、それぞれ折返しの壁にタッチする前に第2、第3、第4競技者がレスキューチューブ（肩掛け部分、紐、その他全ての部分を含む）に触った場合。
  - ⑥ 第4競技者が、はっきりと見えるようにフィニッシュの壁にタッチしなかった場合。
  - ⑦ 1人の競技者が、2つまたはそれ以上の区間に出場した場合。
  - ⑧ 競技者が、自分の区間を終了しプールから出た後に、再度プールに入った場合。

(以上)